

# つん せんで弁講座

## 「ちんこだんご」

今回は、これぞせんで弁、川内名物でもあり、昔から愛されている庶民のおやつ「ちんこだんご」を紹介するつん。

全国を見回しても、こんなちん妙な名前は他にあるのかなというくらいインパクト。

他の地域の人なら、なぜか赤面しちゃうかもしれないけど、川内の人ならたぶん赤面せず言えちゃうつん。

語源は諸説あるけれど、「ちんか(小さい)だんご」からとか「しんこだんご」が訛ったのではないかとというのが有力だつん。

ちなみに「しんこだんご」は、日置市の深国院というお寺の和尚が、戦で田畑を荒らされて食糧不足に悩む村人からの相談に「落ち穂を拾って団子を作ってみたらどうだろう」と答えたのがルーツとして知られているつん。

関係ないけど、鹿児島弁で「ちんちん」と言うと、「だんだん」とか「少しずつ」って意味だつん。ちんちん寒くなってきたつん。

「ちんちん」と言うと、「だんだん」とか「少しずつ」って意味だつん。ちんちん寒くなってきたつん。

ちなみに「しんこだんご」は、日置市の深国院というお寺の和尚が、戦で田畑を荒らされて食糧不足に悩む村人からの相談に「落ち穂を拾って団子を作ってみたらどうだろう」と答えたのがルーツとして知られているつん。

関係ないけど、鹿児島弁で「ちんちん」と言うと、「だんだん」とか「少しずつ」って意味だつん。ちんちん寒くなってきたつん。

ちなみに「しんこだんご」は、日置市の深国院というお寺の和尚が、戦で田畑を荒らされて食糧不足に悩む村人からの相談に「落ち穂を拾って団子を作ってみたらどうだろう」と答えたのがルーツとして知られているつん。

関係ないけど、鹿児島弁で「ちんちん」と言うと、「だんだん」とか「少しずつ」って意味だつん。ちんちん寒くなってきたつん。

ちなみに「しんこだんご」は、日置市の深国院というお寺の和尚が、戦で田畑を荒らされて食糧不足に悩む村人からの相談に「落ち穂を拾って団子を作ってみたらどうだろう」と答えたのがルーツとして知られているつん。

関係ないけど、鹿児島弁で「ちんちん」と言うと、「だんだん」とか「少しずつ」って意味だつん。ちんちん寒くなってきたつん。

ちなみに「しんこだんご」は、日置市の深国院というお寺の和尚が、戦で田畑を荒らされて食糧不足に悩む村人からの相談に「落ち穂を拾って団子を作ってみたらどうだろう」と答えたのがルーツとして知られているつん。

関係ないけど、鹿児島弁で「ちんちん」と言うと、「だんだん」とか「少しずつ」って意味だつん。ちんちん寒くなってきたつん。

ちなみに「しんこだんご」は、日置市の深国院というお寺の和尚が、戦で田畑を荒らされて食糧不足に悩む村人からの相談に「落ち穂を拾って団子を作ってみたらどうだろう」と答えたのがルーツとして知られているつん。

関係ないけど、鹿児島弁で「ちんちん」と言うと、「だんだん」とか「少しずつ」って意味だつん。ちんちん寒くなってきたつん。

ちなみに「しんこだんご」は、日置市の深国院というお寺の和尚が、戦で田畑を荒らされて食糧不足に悩む村人からの相談に「落ち穂を拾って団子を作ってみたらどうだろう」と答えたのがルーツとして知られているつん。

関係ないけど、鹿児島弁で「ちんちん」と言うと、「だんだん」とか「少しずつ」って意味だつん。ちんちん寒くなってきたつん。

ちなみに「しんこだんご」は、日置市の深国院というお寺の和尚が、戦で田畑を荒らされて食糧不足に悩む村人からの相談に「落ち穂を拾って団子を作ってみたらどうだろう」と答えたのがルーツとして知られているつん。

関係ないけど、鹿児島弁で「ちんちん」と言うと、「だんだん」とか「少しずつ」って意味だつん。ちんちん寒くなってきたつん。

ちなみに「しんこだんご」は、日置市の深国院というお寺の和尚が、戦で田畑を荒らされて食糧不足に悩む村人からの相談に「落ち穂を拾って団子を作ってみたらどうだろう」と答えたのがルーツとして知られているつん。

関係ないけど、鹿児島弁で「ちんちん」と言うと、「だんだん」とか「少しずつ」って意味だつん。ちんちん寒くなってきたつん。

ちなみに「しんこだんご」は、日置市の深国院というお寺の和尚が、戦で田畑を荒らされて食糧不足に悩む村人からの相談に「落ち穂を拾って団子を作ってみたらどうだろう」と答えたのがルーツとして知られているつん。

# うぶ声



12月届出分(敬称略) \*掲載同意分のみ

川内	出生児	保護者
中内	咲	英智
田平	琉也	誠也
佐藤	和	陽平
浮池	架糸	一希
末廣	颯太	大悟
前原	凛和	幸成
福永	桃子	隆
松山	楓	海人
繁昌	楓	智裕
新地	莉和	拓耶

高津原	美和子	加拓也
上津	逢雅	和哉
黒木	こな	健史
廣山	陽翔	侑人
柳田	咲叶	礼人
平峰	さくら	一徳
宇都	美音	竜正
内山	心	将人
山元	澁喜	裕喜
濱崎	ふゆね	喜博
竹崎	叶	愛博
吉村	色葉	真一
吉川	耀	彰輔
書川	結	愛輔
川田	悠	真也
高濱	悠	幸雄
稲森	結	天祐
山口	結	大地
赤塚	璃	幸介
中野	葵	幸五

川原	沙莉	浩一
南竹	海紀	翼
林場	悠心	舜
馬場	好誠	尚平
貫田	凛愛	亮
川添	来翔	公人
戸川	天馬	礼央奈
平林	蓮心	拓馬
飯母	蓮心	佑介
古賀	蒼心	翔太郎
斎藤	蒼心	龍也
福山	湊史	憲史
吉松	実咲	孝樹
荒川	愛梨	弘樹
堅道	結真	真也
住友	結真	衆也
新坂	英太	裕介
中尾	凛太	政明

高山	快人	周吾
荒木	咲人	大作
振角	明香	康平
河野	明日香	貴洋
鷺山	紗菜	隆行
入来	村松	沙暖
永福	このか	友樹
税所	結愛	篤志
東郷	村上	晴
橋口	なな羽	智久
野村	知暉	恵二
上甕	畑	柚
畑	柚	徹

そのほかの地域は、掲載対象者がありませんでした。

# おんせみ

12月届出分(敬称略) \*掲載同意分のみ

川内	氏名	年齢
吉松	繁隆	83
橋口	ムツエ	94
右田	健二	70
小田	睦男	86
南原	治二	80
赤岩	吉治	69
野呂	誠	86
徳重	タマ子	79
神之門	純子	80
永留	博孝	78

下町	美和子	加拓也
竹之内	フヨ	ヨ
假屋	利秀	秀
福山	定男	秀
吉留	信四郎	信
宝満	アヤ子	久住
藤山	安宏	久住
愛甲	矩義	久住
今村	昌利	久住
下之	空来	久住
上之	ミサ子	久住
田畑	正ギ	久住
小島	正ギ	久住
松山	式正	久住
湯田	エミ子	久住
有島	清志	久住

伊地知	あさ子	港
徳永	好子	百次
今吉	貞敏	永
渡邊	順子	久見崎
田畑	光幸	寄田
松田	義弘	高江
後藤	佳弘	高江
山本	佳弘	高江
橋元	みつ子	陽成
児浦	幸子	城上
桃重	能幸	湯田
内田	フミ子	西方
寺地	定行	中郷五丁目
大田	徳三	市比野

牛鼻	雅子	市比野
福田	幸子	市比野
井川	春夫	市比野
黒木	フクエ	塔之原
入来	平野	耕作
厚地	國重	副田
東郷	北園	信江
久留須	不二	山田
田島	みわ子	藤川
久保	勉	藤川
湯之上	三州子	蘭牟田
末吉	富美子	上手
井手上	玲子	上手
内ノ倉	アヤ	黒木
上甕	田繁	安
塩田	フミ子	瀬上
大良	フミ子	瀬上
松本	優志	手打
橋本	正興	青瀬
山本	貴子	長浜
山下	信子	長浜

そのほかの地域は、掲載対象者がありませんでした。

↑切り取ってご利用ください。

## 読者のひろば

広報室ではお便り、絵手紙、写真などを募集しています。住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネームを明記の上、はがき・封書・メールで投稿ください。\*文章は、必要に応じて添削する場合があります。【投稿・問合せ】=本庁広報室内 読者のひろば係 koho@city.satsumasendai.lg.jp

このコーナーには、本庁市民課または各支所地域振興課に届け出(出生・死亡)をされた方で、広報紙への掲載に同意された方のみを掲載しています。